

防災学習

国内最大級の津波想定の高知県・黒潮町が考える「防災」のお作法

34mというとても信じられない日本最大の津波の恐れがあると想定された高知県・黒潮町。暮らしのすぐそばにある海は大いなる恵みを与えてくれるとともに、時に大きな災いをもたらします。砂浜美術館の防災学習プログラムは、自然の2面性を理解し、私たちがそうした自然の一員であることを認識し、『自分の命は自ら守る』ことの大切さに気づくプログラムです。

黒潮町の防災への取り組みは
2017年濱口梧陵国際賞を
受賞しました！



■プログラムの流れ：

＜座学＞・地震発生の仕組み

・南海トラフ地震と黒潮町の防災対策

＜フィールドワーク＞砂浜から避難タワーまで避難訓練

・災害発生時のシミュレーション

＜ワークショップ＞プログラムの振り返りと共有

・最後にスタッフからのまとめ話 …等

＜座学＞

ふるさと総合センター

佐賀総合センター

＜フィールドワーク＞

「入野の浜」



■受入人数：5～100名（要相談）

■料金：2,000円/人

■所要時間：2時間程度

■受入期間：通年

■予約：事前予約



佐賀地区津波避難タワー一見学

全国最大の津波想定の高潮町に建設された国内最大級の津波避難タワー

日本最大級の津波高(34m)を想定された想定された町として「犠牲者ゼロ」を実現させるため町内に6基設置されている津波避難タワーがあります。見学可能な津波避難タワー2基のうち、国内最大級の高さを誇る「佐賀地区津波避難タワー」は、階段とスロープを併設したバリアフリー設計が特徴。避難訓練と同時に備品の点検や追加を行うなど、日頃から高い意識を持ち、犠牲者ゼロを目指す町の人々の想いや取り組みについて学びます。



■プログラムの流れ:

- ・佐賀地区津波避難タワー見学
- ・スマホアプリ「逃げトレ」による津波避難訓練フィールドワーク(希望者のみ)

■受入人数:5名～(要相談)

- 料金:佐賀地区津波避難タワー見学 500円/人
「逃げトレ」による津波避難訓練フィールドワーク:無料オプション

■所要時間:30分～1時間程度

■受入期間:通年

■予約:事前予約



※「逃げトレ」:津波避難訓練支援アプリ
(監修:京都大学防災研究所矢守研究室)

防災缶詰創作料理

食から日常の防災を考える！

災害時の困りごとの一つにアレルギーを抱えた人は避難所で支給された食品が食べられないということがあります。その問題に取り組み、黒潮町では7大アレルギーを取り除いた防災缶詰として地元食材を中心に様々な缶詰を作っています。

日常から備えること、また、非日常で日常を取り戻す「食」として日常から味わいローリングストックしていくことで食から防災を考えます。缶詰をさらにおいしく食べるための防災缶詰を使った創作料理を堪能します。



※写真は一例です。
メニューはかわることがあります。



■プログラムの流れ:

- ・黒潮町の防災缶詰の説明
- ・缶詰を使った創作料理(食事)

■受入人数:4名~50名(要相談)

■料金:2,000円~3,500円/人 ※和食セットまたは洋食セット

■所要時間:1時間~1時間30分

■受入期間:通年

■場所:ネスト・ウエストガーデン土佐 レストラン

■予約:事前予約

